

平成30年度「新しい東北」交流拡大モデル事業

- 33件の提案の中から9事業者を選定し、東北への外国人交流人口の拡大につながる民間の新たなビジネスモデルの立ち上げを支援。
- 岩手・宮城・福島各復興局でも、それぞれの地域の課題に合わせたモデル事業「地域型」7事業者を選定。被災地域の観光復興を目指した事業展開を支援。

2020年を見据えた課題解決

1. 東北エデュケーショナルプロジェクト
(株式会社JTB仙台支店)
2. 目指せ！ダイバーシティ東北 (株式会社新通)
3. 東北プレミアムサポーターズクラブの設立
(株式会社ダイヤモンド・ビッグ社)
4. Experience Fruit Picking in Tohoku (福島民報社)

東北のコアなファン獲得

5. TOHOKU NEW 湯治 TOUJI STYLE ブランドの確立
(株式会社阪急交通社)
6. TOHOKU WONDER PROGRAM
(株式会社第一広告社)
7. TOHOKU Local Train Tourism
(東武トップツアーズ株式会社)
8. 海外現地企業向け国際交流型研修旅行「イノベーション
ツーリズム」 (株式会社パナソニック)
9. Date Otaku Experience (株式会社KADOKAWA)

<地域型>

岩手復興局

1. 岩手県沿岸地域における防災・復興コンテンツを活用した交流拡大モデル事業 (株式会社近畿日本ツーリスト東北)
2. 岩手県を中心とした北東北インバウンド交流拡大モデル事業
(株式会社JTB盛岡支店)

宮城復興局

1. 「沿岸部における農山漁村滞在型交流モデル」交流人口拡大事業 (株式会社百戦錬磨)
2. Let's Study & Stay Miyagi宮城県訪日教育旅行/留学生交流拡大プロジェクト (株式会社近畿日本ツーリスト東北)
3. 外国人サイクリストの持続的な誘客に向けた環境整備及びツアープログラムの造成・販売に係る企画提案
(株式会社ジェイアール東日本企画仙台支店)

福島復興局

1. ホープツーリズム海外誘客事業
(公益財団法人福島県観光物産交流協会)
2. フードバリューチェーン学習の場としての福島ブランドの確立と風評被害払拭事業 (株式会社電通)